



神小たより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 9月号

保護者・地域版

H28. 9. 12



「104名全員で2学期を迎えられた『幸せ』をかみしめて、 進んで他の人と協力できる神山小学校に！」

校長 鈴木 正彦

長い夏休みが終わり、神山小学校104名の元気な顔が戻って来ました。神山小学校職員一同、これほどうれしいことはありません。最初に、神山小学校の子どもたちに、お礼を言いたいと思います。なぜなら、1学期の終業式での校長先生はじめ、先生方との大切な約束を守ってくれたからです。その約束とは、「9月1日の2学期の始業式には、全員元気な笑顔を見せること。」でした。その約束を全員守ってくれました。

「心より、ありがとう！」「本当にありがとう！」

現在各教室、廊下等に、夏休みの子どもたちの自由研究、工作、習字等の作品が展示されています。どれも力作揃いです。作品の他にも、水泳やスポーツ、学習や読書等にごがんばった人もたくさんいることでしょう。夏休みの一人一人の努力は、必ず大きな力となって成長へとつながります。2学期の子どもたちの成長が楽しみです。

さて、今年の夏は、オリンピック一色だったと言っても過言ではありませんでした。新聞やテレビで連日日本のメダルラッシュの報道がなされ、多くの感動シーンが観られました。その中の一つ、陸上男子の400リレーでは、並み居る強豪国を抑え銀メダルを獲得しました。

実は、個人競技の100^mの記録で日本人選手は、誰一人9秒台で走れる選手はいませんでした。他国のリレー選手の中には、100^mを9秒台で走れる選手が何人かいました。つまり、リレー選手4人の合計タイムで考えれば、日本チームが銀メダルを手にするのはとても厳しい状況でした。1人10秒で走れるとしても、4人の合計タイムは、10(秒) + 10(秒) + 10(秒) + 10(秒) = 40(秒)であり、他国の合計タイムより遅くなってしまふからです。

それでは、実際のタイムはどうだったのでしょうか？何と**37秒68**でした。予想より**2秒以上**速くなったのです。なぜ、4人の合計タイムが速くなったのでしょうか？

一つ目は、リレー選手一人一人がまず、自分の記録を伸ばそうと精一杯努力したからです。その結果、100^mで9秒台が狙える選手が出てきました。

二つ目は、「一人一人の記録で勝てないのなら、**チームの力を強くしよう。**」という気持ちで、4人で**協力して**徹底してバトンパスの練習をしたからです。リレーでは、いかに渡す人と受け取る人のスピードを落とさずに、バトンの受け渡しができるかが、勝負の分かれ目となります。日本はバトンパスを徹底して練習し、タイムを縮めることに貢献しました。まさに、チームワークの勝利です。おそらくバトンパスの技術は世界一でしょう。

そこで始業式では、以下の2点について心がけ、学校生活を送ることを確認しました。

- 1 学習や運動、係活動など、一人一人が目標をもって努力すること。
- 2 よりよいものを創ろうという気持ちで、友達や他の学年の人と進んで協力して活動すること。

他の人と協力することで、一人ではどうもできなかったことも「できる」ようになるはず。そして、「協力」することのよさを実感するでしょう。

2学期には、そのよさが実感できる行事がたくさんあります。「五頭登山」や「マラソン記録会」、「学習発表会」や「いなほ祭り」、他にも「陸上記録会(6年生)」、「小中合同音楽祭(3・4年生)」、「阿賀野市未来フォーラム(5・6年生)」・・・。

104名全員で始業式を迎えられた「幸せ」をかみしめて、2学期も職員一同神山小学校の子どもたちの笑顔のために、全力で教育活動に取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様のご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

